

コードの埋め込み

ER17026 木南 貴志

2020 年 12 月 14 日

1 コードの埋め込みについて

chapter7_code.tex と chapter7_code.tex を照らし合わせて読んでください。

usepackage で listings を指定すると、ソースコードを埋め込むことができます。また、jlisting を使用すると日本語にも対応しますが、デフォルトではインストールされていないので「semi/home-work/2020_12_14/2020_12_14.ipynb」を参考にして導入してください。

ソースコードは、ソースコード 1 のように参照することが可能です。基本的に、ソースコードを記述する場合、必ず 1 度以上参照する必要があります。また、一度コンパイルしただけだと、参照した時に「？」と表示されるので「pLaTeX(ptex2pdf)」 「pLaTeX(ptex2pdf)」と 2 回コンパイルを実行する必要があります。

VScode での環境構築が完了している場合、「ctrl+s」で保存するだけでコンパイルが完了します。

ソースコード 1 title

```
1 import numpy as np
2
3 # 行列 A の定義
4 matA = np.array([[2.0, 5.0, 8.0],
5                  [1.0, 3.0, 6.0],
6                  [7.0, 9.0, 4.0]])
7
8 # 行列 A のスカラー倍の計算
9 matAns = matA * 3
10
11 # 計算結果の表示
12 print(matAns)
```

2 課題

必須：author を自分の名前、date を提出日に変更してください。

任意：コードを追加してください（コードは何でも可）。また、ref を使用して「コードをコード 1 に示す」の様に参照してください。

編集が完了したら、コンパイルしてください。

VScode で編集している場合、「ctrl+s」で保存＆コンパイル 「ctrl+alt+V」で出力される pdf をプレビューできるので変更点が反映されていることを確認してください。